

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード I-2-(2)

政策体系	施策名	高齢者が安心して暮らせる地域づくり	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画(プラン2005)頁	35
	政策名	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり	関係部局名	福祉保健部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域全体で支える在宅生活への支援	介護サービス基盤の充実	認知症高齢者対策の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125								
i	小規模多機能型居宅介護事業所の設置されている日常生活圏域数(か所)	①②	H22	28	50	39	78.0%												
ii	認知症サポーター数(人)	③	H22	23,087	40,000	77,755	194.4%												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	<p>著しく不十分</p> <p>事業者にとっては、比較的軽度の利用者が多く、施設に支払われる介護報酬が低いことにより経営が不安定になりやすいことから、積極的な参入に繋がらず目標値には到達しなかった。 引き続き「大分県小規模介護事業者連絡会」と連携を図りながら、参入促進のための研修会を事業所や市町村向けに開催するほか、地域医療介護総合確保基金を活用した施設整備等の助成支援を行い、ソフト・ハードの両面で整備を推進していく。</p>	概ね達成
ii	<p>達成</p> <p>認知症サポーター養成講座の講師役(キャラバン・メイト)の養成や認知症施策プロデュース委員会を通じた市町村や民間企業への取組要請により、目標値を達成することができた。</p>	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・地域ケア会議活性化のため市町村に講師を派遣(延べ28回)したほか、自立支援型ケア普及のため、地域包括支援センターへのリハ職等派遣を行い、地域包括ケアシステムの構築を推進した。
②	・おおいた高齢者いきいきプランや各市町村の計画に基づき、小規模な老人保健施設を1カ所、定期巡回・随時対応サービスを1カ所整備し、介護サービス基盤の充実を図った。
③	・認知症施策プロデュース委員会を開催(6回)し、大分認知症フォーラムの企画実施など、行政、医療、介護及び民間企業関係者による認知症施策の総合的な推進を図った。 ・大分オレンジドクター(かかりつけ認知症専門医)の養成(H27:45名、計407名)や、一般病院医療従事者向け対応力向上研修等を実施し、認知症の人への支援体制の強化を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	地域包括ケアシステム構築推進事業	29,505	A
②	介護サービス基盤整備事業	170,834	A
③	市町村認知症施策強化推進事業	10,644	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県老人福祉計画策定協議会(H27.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護と医療の連携を進めてほしい。 ・地域包括ケアシステム構築の要となる地域包括支援センターの機能強化が必要。 ・認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チームの連携が必要。 	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
B	<p>・地域ケア会議の充実・強化が必要な市町村への支援や地域包括支援センターへのリハビリテーション等専門職の派遣による機能強化を通じて、自立支援型ケアマネジメントの質の向上を図ることができた。今後は、地域ケア会議への医師の参加やリハビリ専門職の派遣ニーズに対応するための体制づくりなど、在宅医療・介護連携をさらに推進し、地域包括ケアシステムの構築を推進する。</p> <p>・小規模な介護施設等の創設及び増設等を促進することにより、地域の実情に応じた介護サービス基盤の充実が図られてきた。引き続き、おおいた高齢者いきいきプランや各市町村の計画に基づき、介護サービス基盤の充実を図る。</p> <p>・介護サービス事業者や市町村に対するセミナーの開催等を通じ、地域密着型サービスの必要性の理解及び経営・事業運営上の留意点の理解を促進した。引き続き、小規模多機能事業者連絡会と連携し、先進事例の取組や経営改善の成果等を情報提供することにより小規模多機能型居宅介護事業所の新規参入を促す。</p> <p>・民間を含む関係者間で、認知症サポーターの養成等による普及啓発やSOS見守りネットワークの整備等に関する実践可能な取組を検討し市町村施策につなげるとともに、フォーラム開催により情報発信することができた。引き続き、情報共有を図るとともに、容態に応じて適切に医療と介護が提供される体制づくり等、地域での生活を支える体制を整備する。</p>